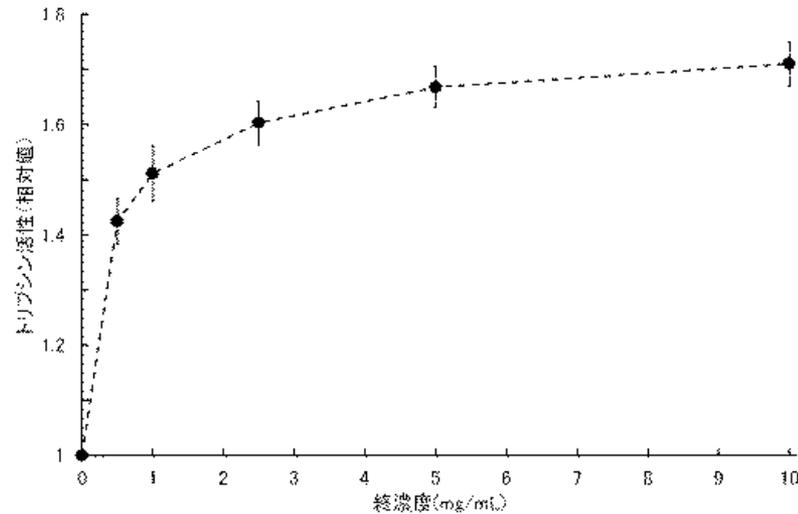


飲食

ミズ乾燥粉末から得られる安全な酵素活性促進剤

発明の名称	酵素活性促進剤の製造方法及び酵素活性促進剤の含有物		
出願人/権利人	ワキ製薬株式会社	発明者	井上 國世、芳井 克洋
出願日	平成29年4月6日	出願番号	2017-076108
公開番号	2018-174752	特許番号	6196406
法的状態	登録中		

代表図



ミズ抽出液画分の乾燥粉末によるトリプシン活性の促進効果におけるミズ抽出液画分の濃度依存性

発明の概要

所定の酵素に対して活性促進効果を有する酵素活性促進剤の製造方法及びその含有物

特徴

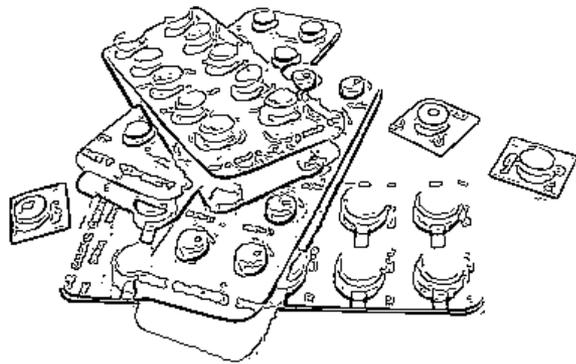
所定の酵素がトリプシン、キモトリプシン、リパーゼ、及びこれらの酵素の類縁酵素類から選択される酵素活性促進剤の製造方法である。

本発明は、ミズ乾燥粉末に水を加えるなどしてミズ抽出液を得る抽出工程と、そのミズ抽出液に由来する分子質量3kDa未満のミズ抽出液画分を得る分画工程を実行して得られるミズ抽出液画分から、酵素の活性促進効果を有する酵素活性促進剤を得られる。このようにして得られたミズ乾燥粉末由来の酵素活性促進剤は、酵素を促進する目的の医薬品、飲食品、添加物などとして用いることができる。

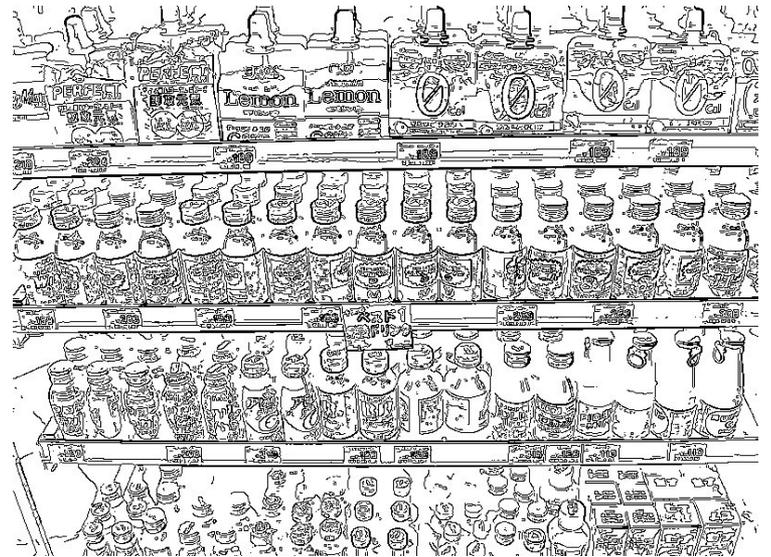
関連分野

医薬、ケミカル、医療・保健衛生

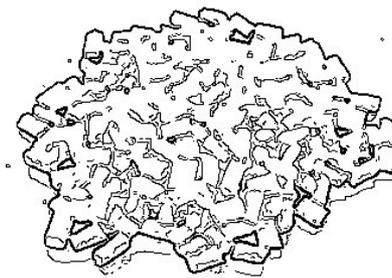
応用の可能性



医薬品



飲食品



添加物

など

応用の可能性

- ・医薬品
- ・飲食品
- ・添加物

- など

本技術の活用が見込める企業の一例

- ・アサヒ飲料株式会社
- ・株式会社キリンビバックス
- ・あすかアニマルヘルス株式会社
- ・株式会社明治
- ・森永乳業株式会社
- ・ユーシーシーホールディングス株式会社
- ・株式会社日本サンガリアベバレッジカンパニー
- ・大塚製薬株式会社
- ・第一三共株式会社
- ・大正製薬株式会社
- ・塩野義製薬株式会社
- ・協和発酵キリン株式会社

- など

ワキ製薬株式会社の本発明に関する最新動向

- ・本件特許に関連する動向情報は見受けられないが、ミミズに関する有益情報を提供する「ミミズ大学」(<http://41332.jp/>)というホームページを公開し情報提供を行っている。